学校番号	1301

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	教養の社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一般企業の就職採用試験に対応できるように、実際に出題された問題を中心に学習を進める。
・新聞やテレビのニュースで取り上げられる今日的な社会問題についても学習し、時事問題にも対応できる学力を養う。
・必要に応じてＩＣＴ教材を用いて調べ学習などをグループで協働して行い、他者と協力することも主題とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会（地歴・公民）科の全般にわたって基礎的な知識や学力を身につける。また、一般企業の就職採用試験に対応できる知識や学力の獲得をめざす。
【思考力、判断力、表現力等】
社会（地歴・公民）科の全般にわたる現代的な諸課題についての資料や図から様々な情報を適切に理解し、まとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
社会（地歴・公民）科の全般にわたる現代的な諸課題について考え、よりよい社会の実現に向けて、主体的に追究する態度や市民としての自覚を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	一般教養に関しての知識を定着できている。課題について、発展した考えをまとめる事ができる。 課題に必要な情報をまとめて、短時間でスピーチが出来る力を身に着いている	課題について、多面的、多角的に理解して表現するために必要となる情報を収集し、発表の準備ができる。	基礎的な知識を定着し、社会において応用していく力を身に着ける。また、授業において積極的な発言ができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	基礎教養の定着	就職採用試験問題の演習 地理的分野 都道府県・県庁所在地 世界の国名・首都など 歴史的分野 主な歴史的事件・人物 政治的分野 日本の政治制度・憲法、国際関係・国連機関など 経済的分野 日本の戦後経済の変貌・ 世界経済の変貌・世界の通貨制度	a: 課題に必要な情報をまとめて、短時間でスピーチが出来る力を身に着いている 一般教養に関しての知識を定着できている。課題について、発展した考えをまとめる事ができる。 b: 課題について、多面的、多角的に理解して表現するために必要となる情報を収集し、発表の準備ができる。 c:基礎的な知識を定着し、社会において応用していく力を身に着ける。また、授業において積極的な発言ができる。	確認テスト ICT 教材	提出プリント グループワーク	提出プリント グループワーク
ステージ2	教養の発展学習	就職採用試験問題の演習 新聞・テレビ・インターネットなどのニュース・報道番組から現代の政治・経済・社会問題を学ぶ	a:課題に必要な情報をまとめて、短時間でスピーチが出来る力を身に着いている 一般教養に関しての知識を定着できている。課題について、発展した考えをまとめる事ができる。 b: 課題について、多面的、多角的に理解して表現するために必要となる情報を収集し、発表の準備ができる c: 基礎的な知識を定着し、社会において応用していく力を身に着ける。また、授業において積極的な発言ができる。	確認テスト ICT 教材	提出プリント グループワーク	提出プリント グループワーク

ステージ3	教養のまとめ	日々の話題や世の中の動きを考察する 新聞・テレビ・インターネットなどのニュース・報道番組から現代の政治・経済・社会問題を学ぶ ビジネスマナーや、冠婚葬祭における儀礼的マナーを学び、社会人としての知識を身につける。	a: 課題に必要な情報をまとめて、短時間でスピーチが出来る力を身に着いている。一般教養に関しての知識を定着できている。課題について、発展した考えをまとめる事ができる。 b: 課題について、多面的、多角的に理解して表現するために必要となる情報を収集し、発表の準備ができる。 c: 基礎的な知識を定着し、社会において応用していく力を身に着ける。また、授業において積極的な発言ができる。	確認テスト ICT 教材	提出プリント グループワーク	提出プリント グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度